

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-B2 健康と共生		
テーマ責任者	宮原 春美	責任部局	医歯薬(保健学系)
対象学部	工学部・環境科学部		
趣旨	<p>健康とは単に病気がないという状態ではなく、身体的・心理的・社会的・霊的に安寧な状態をいう。また健康問題を考えるとき病気や障害があってもその人がその人らしく生きられ、社会全体が共に生きる(共生)という視点が重要である。</p> <p>ここでの「共生」には「インクルージョン」「人権」「リハビリテーション」も含まれる。そのためモジュール I では健康と共生について学ぶための基本的知識について概観する。モジュール II ではモジュール I を基礎として、ライフサイクルに応じた基本的な健康問題とトピックスについて教授する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の概念と各ライフサイクルにおける健康問題について説明できる: 科目 I a「人の一生と健康」</li> <li>・人間にとっての性の意義とその多様性について説明できる: 科目 I b「性と生」</li> <li>・人々の暮らしにおける「共生」の意義について説明できる: 科目 I c「ハンディキャップ」</li> <li>・健康と共生にかかわる知識と技能を活用できる: 科目 II a~e</li> <li>・各科目の履修を通して環境や多様性の意義について説明できる</li> <li>・以上を通して、自ら学び、考え、主張し、行動する能力を身につける</li> </ul>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>前提知識は特に問いませんが、健康問題に関心がある方、ほかの人と協働して学習を進めていくことに関心がある方を歓迎します。特にモジュール II では教室内だけの学習活動にとどまらずフィールドワークも取り入れますので、受け身の学習態度ではなく積極的な学習態度で臨んでほしいと思います。</p>		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュール I	(I a) 人の一生と健康	折口 智樹 花田 裕子 澤井 照光	人の各ライフサイクル(乳幼児期、学童期、思春期・青年期、壮年期、更年期、老年期)における健康問題について理解できる。	ライフサイクル 健康問題
	(I b) 性と生	宮原 春美 宮田 康好 井田 洋子 安日 泰子	人間の性は本能ではなく学習により獲得されることが一つの特徴である。「性」をテーマとして、自己と他者への思考を深め、人間の性の発達と健康問題について理解できる。	セクシュアリティ 多様性 性行動 同意
	(I c) ハンディキャップ	村田 潤 東嶋 美佐子 石松 隆和	疾病・事故・加齢等に伴う運動機能の障害やそれらから起こる生活障害などにより生じるハンディキャップについて理解する。	生活障害 リハビリテーション 福祉機器
モジュール II	(II a) 大学生の育児学	大石 和代 荒木 美幸 上野 美穂	妊娠・出産・育児、親子の絆形成、胎児・乳幼児の発育・発達と育児技術について学習し、次世代育成能力を修得する。最後に男女共同参画と日本の現状について国際的視野から考察し、子育てしやすい社会の構築について提言を行う。	男女共同参画 社会、育児、子どもの発育・発達
	(II b) 仕事と健康	楠葉 洋子 中根 秀之 黒田 裕美	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、労働衛生
	(II c) 老いと健康	井口 茂 横尾 誠一 田中 浩二	加齢に伴って起こる心身の変化と健康問題について理解する。	高齢者の心身の健康、高齢者の生活、介護予防

(Ⅱd) 青年期の健康・体力増進	中垣内 真樹 永江 誠治 山崎 浩則	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のためのトレーニング、食生活等について理解する。	健康, 体力, 食事, メンタル, ヘルスプロモーション, 発育発達
(Ⅱe) 障害体験と支援	東 登志夫 中尾 理恵子 杉山 和一 北島 栄二	各種障害の疑似体験を通して障害を理解し、支援の必要性について考察する。	障害, 高齢者, 支援, 斜面

全学モジュールの目標キーワード、および授業編成の視点との対応	技能・表現				知識・理解				態度・志向性				※授業編成の視点				
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
(Ⅰa) 人の一生と健康	◎		○		○		◎		○			○				○	○
(Ⅰb) 性と生	○	◎	○		○		◎		◎		○	◎	◎	○	○	◎	○
(Ⅰc) ハンディキャップ		○	○		○		◎	◎	◎	○	○	○			○	◎	○
(Ⅱa) 大学生の育児学	○	○	○	○	○		○	○	◎	○		◎	○		○	◎	◎
(Ⅱb) 仕事と健康	◎	○	◎		○		○	○	◎		○	○	○			◎	○
(Ⅱc) 老いと健康	◎	◎	◎		◎		○					◎		○		◎	○
(Ⅱd) 青年期の健康・体力増進	◎		○	○	○		○		○	○		◎	○			◎	◎
(Ⅱe) 障害体験と支援	○			○			○	◎	◎	○		○	○			○	◎
◎(特に重視)の数	4	2	2	0	1	0	3	2	5	0	0	4	1	0	0	6	3
○(重視)の数	3	3	5	3	6	0	5	2	2	4	3	4	4	2	3	2	5

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目